

美術館訪問 学外授業「生涯学習と地域」

11月18日 生活科学専攻(1年)が、授業を学外の施設に出かけ実施しました。

今回は釧路市立美術館で開催中の、「尾山幟・中原悌二郎展」を鑑賞するためです。



尾山幟・中原悌二郎展 2015.10/24 (土) -11/23 (月・祝) ↓

※11月23日(月・祝)は特別開館 一般600円(大学生以下無料) ↓

釧路出身の尾山幟(1921-1995)は、↓

同じく釧路出身の中原悌二郎(1888年-1921年)は大正期日本を代表する彫刻家の一人。↓

たまたま、32歳の若さで没しました。↓

本展ではそれぞれの代表作を展示し、釧路が生んだ2人の偉才の世界をご紹介します。↓



10月24日から開催中の展示は、どちらも本市出身の画家と彫刻家の作品展です。

その代表作が展示・公開された機会に、社会教育施設を実際に利用し、活動にふれてみることで。

「熱心に見学するグループ」と「全体をおおまかに観察のグループ」にわかれます、が、「熱心に見学したグループ」の学生の評です。

「作品の書かれた年代で、色づかいとテーマにこまかな変化」

「動物の描きかたはこまかいが、実際に動物を飼育していたと知って、観察の鋭さを理解」

「彫像は(写真でみるのと違い)、迫力がある」。

釧路市立美術館は「まなぼっと`幣舞` 釧路市生涯学習センター」の3階にありますよねー。10階の展望室まで足を伸ばして、マチの経済と文化を支えている<釧路川>の流れも確かめてみました。

15回の授業で一度は、<学外に出て実際に見聞>することをめざしています。

授業では、現場での臨場感をもっともきたいせつ>にと、学外授業を位置づけてしています。(担当 佐藤)。

